

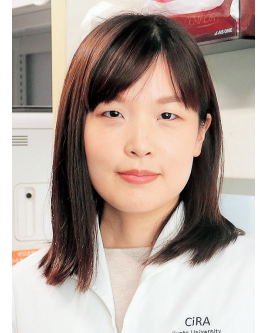
受領No.1545

iPS 細胞を用いた COVID-19 重症化リスク SNP の 機能検証

代表研究者 北川 瑤子 京都大学 iPS 細胞研究所
日本学術振興会特別研究員 RPD

Functional validation of COVID-19 severity-associated SNPs using iPS cells

Representative Yohko Kitagawa, Kyoto University, Center for iPS Research
and Applications, JSPS Research Fellow RPD



研究概要

本研究では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）をはじめとする感染症における遺伝的リスクの分子メカニズム解明およびリスク克服のための介入法探索を目的とする。ヒト iPS 細胞由来マクロファージを用いることで環境要因を排除し、リスク SNP をゲノム編集することにより機能性 SNP およびその下流メカニズムを同定する。また、リスク SNP によるマクロファージの機能異常を修正する方法を化合物を用いて探る。本研究成果により感染症におけるリスクの高い個人をゲノムレベルで特定することが可能となり、今後の個別化医療の実現に繋がると期待される。